

● 業況判断（DI）^{*2}

前回（2024年3月）からの変化

全産業（9,005社）	12 % p	0 % p	→
不動産業（392社）	27 % p	1 % p	↗
大企業	50 % p	△ 2 % p	↘
中堅企業	26 % p	1 % p	↗
中小企業	19 % p	0 % p	→

全産業（全規模）の業況判断は、前回から変化なしの 12%p。

不動産業（全規模）の業況判断は 27%p。また、大企業は2%p悪化の 50%p、中堅企業は1%p改善の 26%p、中小企業は変化なしの 19%pとなった。

● 先行き（3ヶ月後）

変化幅^{*3}

全産業（9,005社）	10 % p	△ 2 % p	↘
不動産業（392社）	19 % p	△ 8 % p	↘
大企業	43 % p	△ 7 % p	↘
中堅企業	18 % p	△ 8 % p	↘
中小企業	12 % p	△ 7 % p	↘

不動産業の3ヶ月後の業況の先行きについては、大企業、中堅企業、中小企業いずれも今期比で悪化を見込んでいる。

● 業況判断の選択肢別社数構成比

	最近			先行き		
	大企業	中堅企業	中小企業	大企業	中堅企業	中小企業
製造業（DI・%p）	13	8	-1	14	7	0
1.良い	21%	21%	19%	19%	18%	17%
[構成比] 2.さほど良くない	71%	66%	61%	76%	71%	66%
3.悪い	8%	13%	20%	5%	11%	17%
非製造業（DI・%p）	33	22	12	27	16	8
1.良い	36%	29%	24%	30%	22%	19%
[構成比] 2.さほど良くない	61%	64%	64%	67%	72%	70%
3.悪い	3%	7%	12%	3%	6%	11%

● 土地投資（2024年度計画）

前年度比

修正率^{*4}

土地投資額（全産業）	-23.1 %	↘	0.7 %
[2023年度計画]	[4.8 %]		

*1 回答期間は 5月29日～6月28日

*2 業況判断（DI）は、「良い」-「悪い」%ポイント。判断の分かれ目はゼロ%ポイント。

*3 先行きの変化幅は、今回調査の業況判断との対比

*4 修正率＝（今回調査の母集団推計値－前回調査の母集団推計値）÷前回調査の母集団推計値×100